

# 親子聖書日課

[日]無意味だと分かっても古い習慣に合わせることがあります。パウロも「清めの式」をしました。それは長老達と一致を保ち、ユダヤ人を救いに導くためでした。福音の中心点は譲れませんが、救いのためなら、世の人に合わせることも必要！

[月]大迫害者サウロを大伝道者に変えたのは、人の説得ではなく、天からの声でした。人間は天(神)からの力でしか変えられません。どんなキリスト教嫌いな人でも神は変えて下さいますから、私達にできることは、諦めないで祈ることです。

[火]パウロは自分に与えられた権利(ローマの市民権)を用いました。それは自分の身の安全を守るためではなく、福音のためです。自分にしかできない伝道の場がありますから、自分の立場を有効に用いましょう。きっと人が導かれます。

[水]「良心に従って神の前で生きる」とは、自分が正しいと思うことを行う生き方ではありません。御言葉に従い、生活の場で実践して生きることです。「私の良心は神の言葉に捕えられている。私は良心に逆らっては行動できない」ルター

[木]主のために働く人は、大ピンチになっても恐れることはありません。不思議と助け手が与えられます。パウロにとっては、甥がそうでした。暗殺の陰謀から救われます。どんな境遇にあっても、主の守りと導きがあると信じて、前進しましょう。

[金]ファリサイ派は正しい者だけの復活を信じましたが、パウロは「正しくない者」もやがて復活するという希望を抱きました。良い行いをしたから天国に行けるのではなく、悔い改めて、主を信じるなら、誰でも行けます。希望の福音を伝えましょう。

[土]パウロが裁判にかけられた時、皇帝へ上訴が認められ、最後は主の約束通りローマで証しました。主は約束を実現する為、脱出の道を備えていますから、試練に遭っても、絶望してはいけません。私達の人生にも脱出の道が備えられています。



NO.1501 2017.7/2-8

名前

	聖書	問題	答え
日	使徒言行録 21:17-36	パウロは翌日一緒に何を受けて神殿に入りましたか。	
月	21:37- 22:16	私はあなたが迫害している誰であると、答えがありましたか。	
火	22:17-29	パウロはローマ帝国の何を持っていましたか。	
水	22:30- 23:11	パウロはあくまで何に従って、神の前で生きましたか。	
木	23:12-35	この陰謀を誰が聞き込み、パウロに知らせましたか。	
金	24:1-23	正しい者も正しくない者もやがてどうするという希望を抱いていますか	
土	24:24- 25:12	パウロは誰に上訴しましたか。	
		<b>感想と祈りの課題</b>	







